

第129回理事会を開催

2019年3月15日、一般社団法人電池工業会第129回理事会が機械振興会館で開催された。定款に基づき田村憲司会長(パナソニック株式会社)が議長となり、第1号議題から第6号議題の報告事項について確認がなされた。

また、第1号議案から第3号議案まで審議され、提出された議案は全て可決承認された。



1. 報告事項

(1) 理事辞任の件

専務理事より理事辞任について報告があった。

(2) 職務執行状況の件

専務理事より、会長・副会長および専務理事の職務執行状況の報告を行った。

(3) 退会の件

事務局長より、退会会員の報告を行った。

(正会員)

会員名
株式会社GSユアサエナジー

(賛助会員)

会員名
株式会社中越黒鉛工業所
新日本工業株式会社

(4) 会員名称変更の件

下記の会員について、事務局長より会員名称の変更があった旨の報告がされた。

(正会員)

区分	会員名
新	株式会社 東芝
旧	東芝インフラシステムズ

(5) 会員代表者変更の件

事務局長より、会員代表者変更の報告を行った。

(6) 事務局交代者の件

事務局長より、着任出向職員3名、帰任出向職員3名の紹介を行った。

2. 議案

(1) 第1号議案 2019年度事業計画(案)の審議

各部長および事務局担当部長より、配布資料に基づき2019年度の事業計画(案)の説明がなされた。

審議の結果、第1号議案は原案どおり承認可決された。

(2) 第2号議案 2019年度事業予算(案)の審議

経理担当部長より、配布資料に基づき2019年度の事業予算(案)の説明がなされた。

審議の結果、第2号議案は原案どおり承認可決された。

(3) 第3号議案 会員入会の審議

事務局長より、配布資料に基づき、下記の賛助会員3社の入会申請について説明がなされた。

審議の結果、第3号議案は原案どおり承認可決され、2019年4月1日付けで入会した。

(賛助会員)

会員名
株式会社オハラ
日本たばこ産業株式会社
エス・イー・アイ株式会社

第90回 二次電池第2部会を開催

2019年2月5日、湯浅部会長(パナソニック(株))を議長に、第90回二次電池第2部会を開催した。冒頭でBAJ競争法コンプライアンスルールを順守することを確認した後、湯浅部会長と清水専務理事からの挨拶があり、続いて各委員会の代表から2018年度の活動報告と2019年度の活動計画が報告された。



1. 湯浅部会長挨拶

本日は、来期の事業計画の検討があるが、今期計画と見込みのギャップ、今期見込みを踏まえた来期目標への取組を整理して報告していただきたい。



2. 清水専務理事挨拶

1/24のNITEプレスリリースに参加した。モバイルバッテリーの事故低減のために2/1からPSEが義務化されるので、効果をウォッチしていきたい。

2019年度の事業計画については、昨年から報告フォームを変え、活動と費用が紐づけされている。費用増の委員会、特に規格関連は日本としてのアドバンテージ

を保ち会員企業に貢献できるよう、活動に落とし込んでいただきたい。



2018年度 二次電池第2部会 事業報告

1. 技術委員会

JIS・IEC・SBA等の規格に関する審議と、電気用品安全法のリチウムイオン電池規制に関する対応。

(1) 小型二次電池の規格にかかわる対応

- ・IEC61960-4 (コイン二次) に日本提案を盛り込みCDV (国際規格原案) へ
- ・IEC62133-2 (リチウム電池 安全)、IEC61951-1、-2 (ニカド電池、ニッケル水素電池) の改正審議
- ・JISC8712-1 (ポータブルアルカリ蓄電池の安全) の

委員会原案の審議

(2)電気用品安全法(PSE)にかかわる対応

- ・ JISC8712の改正に伴う電安法への対応を実施

(3)リチウムイオン電池の安全性試験に関する対応

- ・ IEC62133-2の改正対応

(4)産業用リチウムイオン、Ni-MH電池の規格、基準にかかわる対応

- ・ IEC63056 (蓄電システム用LIB 安全) のCDV 提案
- ・ IEC62619 (産業用LIB 安全性) のCD 提案
- ・ IEC62486-5 (定置用LIB 組電池 安全)、IEC62485-6 (駆動用LIB 組電池 安全) の規格化を支援しCDV へ移行

(5)自動車用非駆動用リチウムイオン電池に規格にかかわる対応

- ・ IEC63057 (非駆動用LIB 安全) はCDV、IEC63118 (非駆動用LIB 性能) はCD2およびupdateCD2を提案

(6)環境規格にかかわる対応

- ・ IEC63218のCDを回付中

2. 国際電池規格委員会

- ・ IEC (SC21A) について、9件の規格開発・改正プロジェクト中8件で日本がプロジェクトリーダーを確保
- ・ その他、TC21・ANSI・UL規格の対応

3. 国際電池輸送委員会

- ・ 国連危険物輸送専門家小委員会において、電池の輸送規則が安全輸送に寄与するよう活動
- ・ リチウム金属電池およびリチウムイオン電池の輸送に関する手引書9版の改訂審議
- ・ 国際民間航空機関 (ICAO) の危険物輸送規則のリチウム電池マークの記載情報や新包装基準の審議

4. 普及促進委員会

- ・ 蓄電池の普及促進に関し、政策提言活動・法改正/基準改正等についての意見交換、「リチウムイオン蓄電池丸わかりBOOK」の改訂

5. 駆動用車載LIB委員会

- ・ 駆動用車載LIBのリサイクルスキームに関し、自動車工業会および経済産業省自動車課との窓口を構築し、情報や意見交換を実施

6. PL委員会

- ・ ホームページや啓発冊子の内容や用語について審議し、「安全で正しい電池の使い方」を更新
- ・ 消費者庁の事故情報の収集

7. 再資源化委員会

- ・ 「小型充電式電池の識別表示ガイドライン」改訂に向けた検討
- ・ 市販のモバイルバッテリーについて、リサイクル表示の実態調査の実施。

8. 広報総合委員会

- ・ 消費者に向けて、体験型イベントを通じて「電池の安全で正しい使い方」を啓蒙
- ・ 新聞や雑誌で「乳幼児の誤飲事故」注意喚起広告を掲載。

9. 国際環境規制総合委員会

- ・ 欧州・アジア・北米・中南米の各タスクチーム会議を開催
- ・ 冊子「世界の電池環境規制」10版を完成配布。環境関連国際会議への参画

2019年度 二次電池第2部会 事業計画

1. 技術委員会

小型二次電池ならびに産業用二次電池の規格ならびに技術関連案件の審議

(1)小型二次電池の規格にかかわる対応

- ・ 国際電池規格委員会と連携して小型二次電池国際規格の技術的内容について提案、検討の実施

(2)電機用品安全法(PSE)にかかわる対応

- ・ JISC8912の改正に伴う電安法への対応

(3)リチウムイオン電池の安全性試験に関する対応

- ・ FISC 試験、IEC62133-2改正へ対応

(4)産業用リチウムイオン、Ni-MH電池の規格、基準にかかわる対応

- ・ IEC63056 (蓄電システム用LIB 安全) の規格化
- ・ IEC62619ed2 (産業用LIB 安全性) の改正提案
- ・ IEC62486-5 (定置用LIB 組電池 安全)、IEC62485-6 (駆動用LIB 組電池 安全) の規格化を支援

(5)自動車用非駆動用リチウムイオン電池の規格にかかわる対応

- ・ IEC63057ed1 (非駆動用LIB 安全)、IEC63118ed1 (非駆動用LIB 性能) の規格化推進

(6)環境規格にかかわる対応

- ・ IEC63218のCDコメント対応、CDV移行

2. 国際電池規格委員会

- ・ 日本主導での国際標準化、国家標準・業界標準対応、各国電池規制対応
- ・ IECのSC21A、TC21規格の改正審議対応
- ・ ANSI、UL、中国電池規格等の対応

3. 国際電池輸送委員会

- ・ 国連会議（危険物輸送専門家小委員会）に参加し、電池の輸送規則改正対応
- ・ 国際民間航空機関（ICAO）の危険物輸送規則改正対応

4. 普及促進委員会

- 蓄電池の普及促進に関する対応
- ・ 政策提言活動（普及促進委員会、大型カスタムWG）
- ・ 法改正、基準改正等（法規WG）
- ・ 「蓄電システムまるわかりBOOK」の改訂版発行

5. 駆動用車載LIB委員会

- ・ 車載用LIBのリユースにかかわる海外の動向調査
- ・ 自動車工業会、経済産業省が推進する車載LIBリユースの動向調査、意見発信

6. PL委員会

- ・ 消費者庁の事故情報収集（データの収集および精査）
- ・ 表示ガイドライン対応（第6版改訂の検討）

7. 再資源化委員会

- ・ 小型充電式電池、定置用、産業用、車載用などの電池の動向調査
- ・ 「小型充電式電池の識別表示ガイドライン」の改訂
- ・ リサイクル表示の実態調査

8. 広報総合委員会

- ・ 「電池の安全で正しい使い方」の啓発（誤飲事故防止、電池廃棄時の注意喚起）
- ・ でんちフェスタ、手づくり乾電池教室の開催
- ・ 自動車用バッテリーの定期点検、買い替えの促進

9. 国際環境規制総合委員会

- ・ 各国環境規制、リサイクル状況の調査と対応

- ・ 冊子「世界の電池環境規制の状況（第10版）」の追補版の更新
- ・ 環境関連国際会議への参画

JBRC 報告

<2018年度事業報告（案）>

1. 会員状況

- ・ 2月現在：354法人

2. 具体的施策実施方針

(1) 小型充電式電池の安全な回収・再資源化処理の強化

- ・ BCP強化：業者4社体制
- ・ 安全回収：金属缶使用、啓蒙強化

(2) 小型充電式電池の回収量確保と回収推進策の強化

- ・ 回収状況：前年同期比 109.9%
- ・ 再資源化率：Li-ion新方式52%
- ・ 正極系リチウムイオン電池回収量：Co系構成比 52%

(3) 一般廃棄物広域認定

- ・ 2018年10月1日より運用開始

<平成31年度JBRC事業方針(案)>

「安全で持続可能な仕組みと体質の強化」

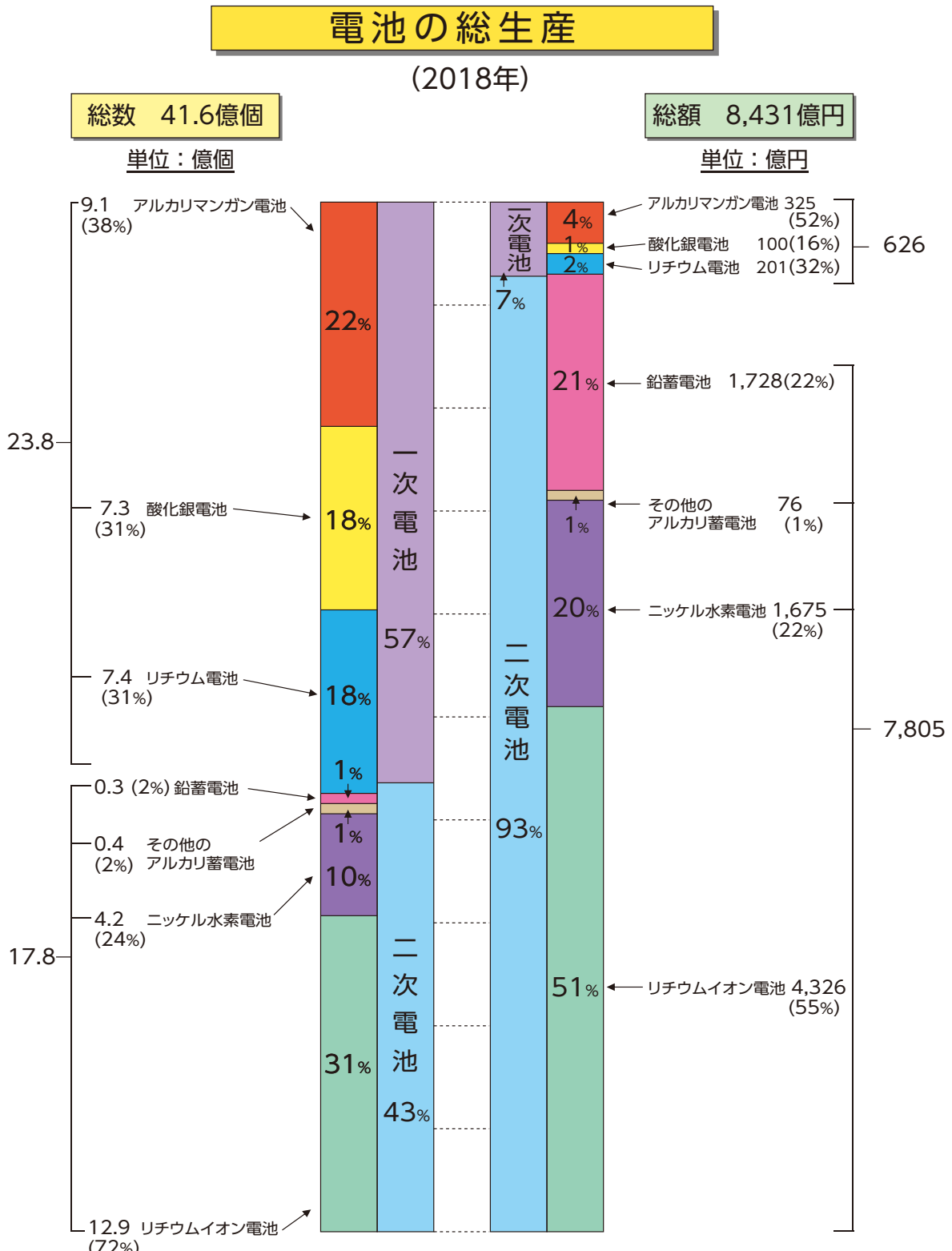
1. 小型充電式電池の安全な回収・再資源化処理の強化
2. 小型充電式電池の回収量確保と回収推進策の強化
3. 管理・運営システムの効率的改善

2018年電池の総生産額は8,431億円

経済産業省機械統計によると、2018年の電池総生産額は8,431億円と前年比で104%増加した。電池総生産数は41.6億個と前年比で101%増加した。

項目別では、一次電池の生産額が626億円（前年比98%）と減少し、二次電池の生産額は7,805億円（前年

比104%）と増加した。種類別では、アルカリマンガン電池が前年から28億円増加したものの、酸化銀電池とリチウム電池がそれぞれ減少した。リチウムイオン電池の生産額は、電池全体の51%を占めている。



五島市 再生可能エネルギー推進室との意見交換会と再生可能エネルギー関連施設見学

普及促進委員会、及び大形カスタムWGでは、長崎県五島市(五島列島)を訪問し、同市との意見交換会と再生可能エネルギー関連施設の見学を行いました。

五島市との意見交換会

まず、電池工業会の概要と取組、一般的な蓄電池システム等を紹介した後、五島市から同市の概要、再生可能エネルギー推進室の取組等を紹介していただきました。



五島市から説明を受ける電池工業会の参加者

五島市は、世界遺産登録された「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」の所在地として知られており、63の島々で構成されています。五島市では、環境省等と協力して再生可能エネルギーを積極的に導入しており、現在、市内の消費電力量の約40%を再生可能エネルギーが占めています。

導入している再生可能エネルギーは、太陽光発電や陸上風力発電はもちろん、浮体式洋上風力発電や潮流発電といった最先端の発電方式も積極的に導入を進めています。

一方、自然環境の変化で発電量が変動する再生可能エネルギーは導入を進めると、市内の電力供給が不安定になる可能性もあり、電力需給の平準化、周波数安定化等に課題があります。

これらの課題に対する対策例として、弊社から、大形蓄電池システムの導入とその効果等を紹介し、五島市には大変興味をもっていただきました。尚、蓄電池システムに対して、高価な印象を持たれており、積極

的な導入に至っていないとの説明を受けたため、今後、蓄電池システム導入による費用対効果をアピールしていく必要があることを再認識しました。

五島市の再生可能エネルギーによる発電量は今後、飛躍的に増加する見込みです。蓄電池システムを導入することにより、再生可能エネルギーの安定供給、利便性の向上等が可能となるため、五島市は、近い将来、再生可能エネルギーを活用した地産地消のモデル地域になると考えられます。

再生可能エネルギー関連施設の見学

五島市との意見交換会の後、複数の再生可能エネルギー関連施設を見学しました。

①浮体式洋上風力発電実証機「はえんかぜ」

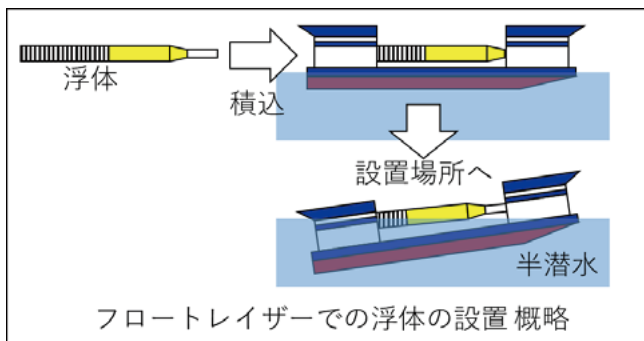


主な仕様

- ・最大出力：2000kW
- ・全長：172m
- ・海上部高さ：56m（ブレード除く）
- ・ロータ直径：80m
- ・発電開始風速：4m/秒
- ・発電中止風速：25m/秒

浮体式洋上風力発電実証機「はえんかぜ」は、五島市の海上沖（崎山沖）に、釣りのウキのように浮遊しています。海上部の高さは56m、ロータの直径は80m、海面付近のタワー直径は約5mもあり、接近して見ると圧倒される大きさです。浮体式ですが波とともに上下するようなことはなく、3本のアンカーチェーンによって安定した姿勢を保っています、昨年、近くを台風が通過した際、70m/秒の強風が観測されましたが、風力発電機本体には何の損傷も無かったとのことです。

尚、環境省との実証試験は平成28年に終了していますが、現在も発電を継続しており、将来的には10基に増やす計画があるとのことです。



②半潜水型スパッド台船フロートレイザー

半潜水型スパッド台船フロートレイザーは、浮体式洋上風力発電機を設置する際、用いるために建造された特殊な台船です。上図に示すように、浮体を岸壁から積み込み、沖合まで運搬した後、設置位置で台船内に注水することにより、約7mまで潜水させ、浮体を海に浮かべて設置します。

従来は巨大な海上クレーン船と台船がセットで航行し、海上クレーン船をアンカーで固定した後、浮体を吊り上げて設置していたため、長期間と莫大な費用を要したとのことですが、本船の建造により、低コスト、且つ短期間による作業が可能になっています。

尚、本船は、日本に1隻しか存在していませんが、

今後は、浮体式洋上風力発電機に限らず種々海上設置構造物の輸送等への活用が期待されています。



今回の参加者：フロートレイザー上にて

③水素燃料電池船「長吉丸」



長吉丸は、環境省の実証事業で建造された水素燃料電池船です。再生可能エネルギーを用いて水を電気分解することにより製造した水素を燃料として運航するため、無騒音、無排気ガスによる約2時間の航行が可能です。

本船は、島内で発電した再生可能エネルギーの電力需要拡大に寄与しますが、高価な水素製造設備の設置、航行時間延長等に課題があるとのことでした。

最後に

五島市は再生可能エネルギーの普及を積極的に推進しておられ、現時点で、市内の消費電力量の約40%を再生可能エネルギーが占めていることに驚きました。一方、これらのエネルギーを有効活用するためには、蓄電池システムの普及促進と共に、今後、現地調査を含めた種々活動が極めて重要であることを改めて再認識しました。

(普及促進委員会、大型カスタムWG)

経済産業省からのお知らせ

2019年工業統計調査の実施について

製造事業所の皆様へ

総務省・経済産業省

総務省・経済産業省では、工業統計調査を2019年6月1日現在で実施します。本調査は、製造業を営む事業所を対象に、1年間の生産活動に伴う製造品の出荷額、原材料使用額などを調査し、製造業の実態を明らかにすることを目的としています。

本調査は、国の重要な統計調査であり、調査結果は国や地方公共団体の行政施策の重要な基礎資料として使われるほか、大学や民間の研究機関等においても広く利用されています。

調査をお願いする製造事業所には、本年5月中旬から6月にかけて、調査票を統計調査員が持ってお伺いするか、または国から直接郵送でお届けいたしますので、お忙しい時期とは存じますが、調査にご理解いただきますようよろしくお願いいたします。

また、同時に実施している経済構造実態調査の対象事業所におかれましては、両調査にご回答をお願いします。

なお、皆様からご提出いただく調査票については、統計法に基づき調査内容の秘密は保護されますので、正確なご記入をお願いします。



2019年3月度の電池工業会活動概要

部会	月度開催日	委員会・会議	主な審議、決定事項
特別会議、他	8日(金)	広報総合委員会	We LOVE DENCHI改訂、HP改訂、他。
二次電池部会	13日(水)	自動車技術サービス分科会	TS-008、TS-012改正審議、他。
	14日(木)	産業電池技術サービス分科会	SBA G 0605改正審議、他。
	15日(金)	用語分科会	SBA S 0405規格の改正審議、他。
	26日(火)	産業用電池リサイクル委員会	広域認定変更申請の状況審議、他。
二次電池第2部会	4日(月)	産業用ニッケル水素分科会	IEC規格対応、審議。
	13日(水)	普及促進委員会	蓄電池システムの普及促進検討。
	13日(水)	非駆動用車載LIB分科会	非駆動用LIBのIEC規格策定。
	15日(金)	法規WG	蓄電池の規制検討。
	18日(月)	据置LIB分科会	IEC規格対応。
	19日(火)	国際電池輸送委員会	危険物輸送の国際会議に関する対応。
	19日(火)	蓄電システムWG	認定の手引改定検討。
	26日(火)	リチウム二次分科会	IEC62133-2 ED2審議、JIS C 8712-2 原案作成審議、他。
一次電池部会	13日(水)	規格小委員会	IEC 60086シリーズの検討、JIS C 8513 改正審議。
	14日(木)	リチウム小委員会	IEC62281 FDIS確認、IEC60086-4 ED5 FDISコメント審議、IEC60086-4 ED6の対応、IEC60086-2 ED14 3CDコメント審議、IEC60086-1 ED13 CDVコメント審議、リチウム電池輸送規則対応、他。
	15日(金)	リチウムコイン二次電池国際規格WG	ANSI C18会議(2月)出席報告、IEC 61960-4 CDV コメント及びANSI会議対応(サイクル、機種追加)。

1月度電池販売実績(経済産業省機械統計)

(2019年1月)

単位：数量一千個、金額一百万円(小数以下四捨五入の為、合計が合わないことがあります)

2011年1月より経済産業省の機械統計は「マンガン乾電池」を「その他の乾電池」に統合されました。

2011年1月より経済産業省の機械統計が「その他の鉛蓄電池」に「小形制御弁式」が含まれました。

2009年12月より経済産業省の機械統計が「その他のアルカリ蓄電池」に「完全密閉式」が含まれました。

「その他の鉛蓄電池」は「二輪自動車用」、「小形制御弁式」を含む。

(2011年～2012年は経済産業省機械統計の「酸化銀電池」は「その他の乾電池」を含む)

2012年より経済産業省の機械統計が「リチウムイオン蓄電池」は「車載用」が新設されました。

(2011年までの「リチウムイオン蓄電池」には「車載用」は含まれていません)

2013年より経済産業省の機械統計は「その他の乾電池」が削除されました。

	単 月				1月～当月累計			
	数量	金額	数量 前年比	金額 前年比	数量	金額	数量 前年比	金額 前年比
全電池合計	333,708	74,865	89%	94%	333,708	74,865	89%	94%
一次電池計	192,260	6,487	94%	95%	192,260	6,487	94%	95%
酸化銀電池	52,184	754	82%	74%	52,184	754	82%	74%
アルカリ乾電池計	72,468	3,084	110%	111%	72,468	3,084	110%	111%
単三	—	—	—	—	—	—	—	—
単四	—	—	—	—	—	—	—	—
その他	13,624	826	170%	122%	13,624	826	170%	122%
リチウム電池	67,608	2,649	91%	87%	67,608	2,649	91%	87%
二次電池計	141,448	68,378	83%	94%	141,448	68,378	83%	94%
鉛電池計	2,777	17,155	100%	106%	2,777	17,155	100%	106%
自動車用	2,172	11,522	101%	105%	2,172	11,522	101%	105%
その他の鉛蓄電池	605	5,633	97%	109%	605	5,633	97%	109%
アルカリ蓄電池計	39,264	15,061	92%	103%	39,264	15,061	92%	103%
ニッケル水素	36,332	14,386	98%	108%	36,332	14,386	98%	108%
その他のアルカリ蓄電池	2,932	675	52%	55%	2,932	675	52%	55%
リチウムイオン蓄電池計	99,407	36,162	80%	86%	99,407	36,162	80%	86%
車載用	71,402	27,501	88%	96%	71,402	27,501	88%	96%
その他	28,005	8,661	63%	65%	28,005	8,661	63%	65%

1月度電池輸出入実績(財務省貿易統計)

(2019年1月)

単位：数量一千個、金額一百万円（小数以下四捨五入の為、合計が合わないことがあります）

2012年より二次電池の輸入項目「その他の二次」が「ニッケル水素」「リチウムイオン」「その他の二次」に分かれました。

2016年より一次電池の輸入項目「アルカリ」が「アルカリボタン」「アルカリその他」に分かれました。

	単 月				1月～当月累計			
	数量	金額	数量 前年比	金額 前年比	数量	金額	数量 前年比	金額 前年比
全電池合計（輸 出）	192,756	42,771	89%	99%	192,756	42,771	89%	99%
一次電池計	83,948	2,211	100%	94%	83,948	2,211	100%	94%
マンガン	57	4	—	—	57	4	—	—
アルカリ	5,286	105	108%	132%	5,286	105	108%	132%
酸化銀	36,041	504	93%	91%	36,041	504	93%	91%
リチウム	42,444	1,354	104%	85%	42,444	1,354	104%	85%
空気亜鉛	120	2	—	—	120	2	—	—
その他の一次	0	242	26%	187%	0	242	26%	187%
二次電池計	108,808	40,561	83%	99%	108,808	40,561	83%	99%
鉛蓄電池	157	1,102	97%	92%	157	1,102	97%	92%
ニカド	741	158	21%	47%	741	158	21%	47%
ニッケル鉄	0	0	0%	0%	0	0	0%	0%
ニッケル水素	8,978	7,510	74%	113%	8,978	7,510	74%	113%
リチウムイオン	93,870	21,941	88%	86%	93,870	21,941	88%	86%
その他の二次	5,062	9,849	59%	134%	5,062	9,849	59%	134%
全電池合計（輸 入）	147,696	23,466	100%	127%	147,696	23,466	100%	127%
一次電池計	136,984	2,387	99%	116%	136,984	2,387	99%	116%
マンガン	13,533	153	70%	82%	13,533	153	70%	82%
アルカリボタン	2,857	24	65%	65%	2,857	24	65%	65%
アルカリその他	102,564	1,326	106%	111%	102,564	1,326	106%	111%
酸化銀	165	6	42%	53%	165	6	42%	53%
リチウム	13,263	634	107%	118%	13,263	634	107%	118%
空気亜鉛	4,590	96	95%	125%	4,590	96	95%	125%
その他の一次	11	147	80%	728%	11	147	80%	728%
二次電池計	10,711	21,079	120%	128%	10,711	21,079	120%	128%
鉛蓄電池	805	3,623	108%	104%	805	3,623	108%	104%
ニカド	43	175	57%	110%	43	175	57%	110%
ニッケル鉄	0	0	—	—	0	0	—	—
ニッケル水素	1,993	394	103%	93%	1,993	394	103%	93%
リチウムイオン	7,768	16,101	130%	146%	7,768	16,101	130%	146%
その他の二次	102	786	49%	58%	102	786	49%	58%